

## 富山市エコタウンを視察して

富山市のエコタウンは、北部工業地帯の約18ヘクタールを「エコタウン産業団地」として資源循環拠点に位置づけ、リサイクル施設を集約してエネルギー利用も含め団地内のゼロ・エミッション<sup>※</sup>化を進めています。

地域内の循環を進め、「人と環境にやさしい都市とやま」を実現していこうという方針で、プラスチックリサイクル、ウッドリサイクル、生ごみリサイクル、自動車リサイクル、繊維及び混合廃プラスチックリサイクル、食用油リサイクルの7施設で運営されています。

今回は、エコタウン内の2社を視察してきました。

1社目は株式会社エコマインドで、混合プラスチックと布、紙で固形化燃料を作っています。

これらの廃棄物は、今までは「リサイクルに向かない」「破碎が困難」「利用しにくい」という理由で、焼却又は埋め立て処理されていました。これらをリサイクルして、埋立地の延命と化石燃料の使用を減らすことにより、廃棄物処理に関わる問題と地球温暖化問題の解決を目指す工場でした。

※ゼロ・エミッション=廃棄物ゼロを目指す活動のこと



発泡スチロール



圧縮された廃プラ・布

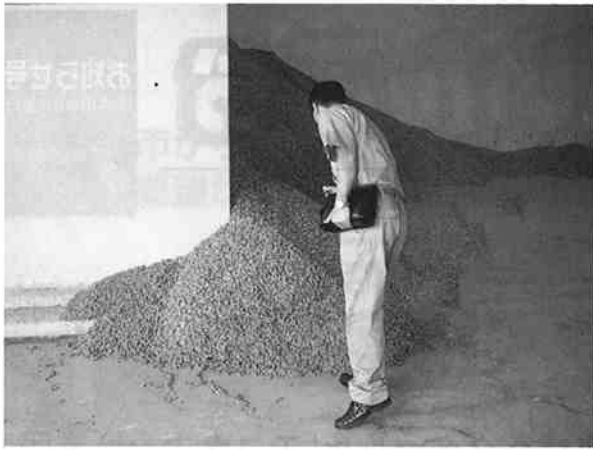


お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 神岡衛生社 TEL0578-82-0337  
FAX0578-82-5846

### 業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ（一般家庭・事業系）
  - 産業廃棄物収集・運搬
  - 浄化槽清掃
  - 浄化槽保守点検
  - 浄化槽工事
  - 上下水道設備工事
  - 下水道施設維持管理（終末処理場・管路）
  - 衛生設備維持管理
  - ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
  - 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
  - 環境衛生関連商品販売
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。



固形化燃料



塩ビが混じっていて原料にならない廃棄物

2社目はグリーンフードリサイクル株式会社で、生ごみと剪定枝を発酵してメタンガスを取り出し、このメタンガスを燃やして発電して、残った固形物で有機肥料を作っています。ごみゼロ(ごみを出さない)リサイクル工場として運営されている会社でした。最後に残るのは水だけと、とても環境にやさしい21世紀のリサイクル工場だと思いました。

確か、昔の映画バック・トゥー・ザ・フューチャー3で、未来から来たデロリアン(車の名前)が生ごみを燃料とするようになっていたと記憶しています。

今後もしリサイクルの技術開発が進むと、すべての廃棄物がリサイクルされる世の中になるかもしれません。

## ごみを資源に

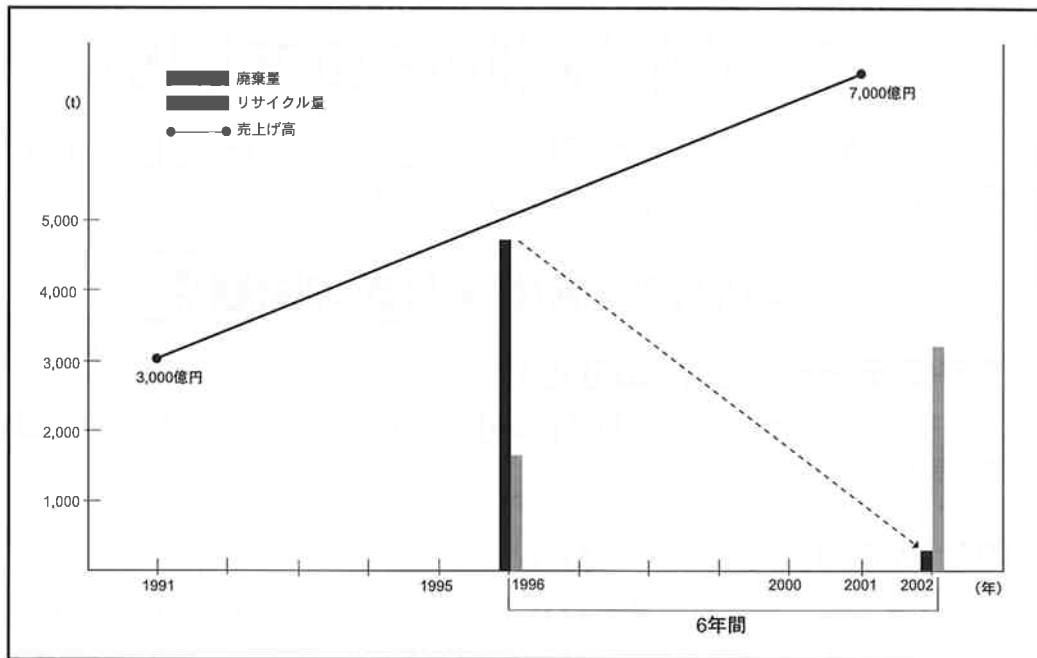
先日、環境プランナー 鈴木 武 氏の「ゴミゼロへの挑戦」という講演を聞きました。鈴木氏は横浜の会社で2工場(両工場合わせて従業員約9,000人)のごみ問題を手がけ、その実績から、定年退職後の現在、環境プランナーとして活動されている方です。

鈴木氏の実績は生半可なものではありません。会社の総生産量が1991年からの10年間で3000億円から7000億円に増加した中で、1996年からの6年間にごみの廃棄量を4,871トンから75トンに削減させました。実に約98%の削減です。これは、それまでごみとして処分されていたものをリサイクルにより資源として扱うようになったことによるものです。リサイクル量は1,687トンから3,106トンへと増えました。その結果、ごみ処分に要していた費用も約2億円減少しました。

これだけのごみ削減を行うために、

- ①職場にはごみ箱がありません
- ②工場からごみを出しません
- ③ごみという言葉は使いません

という三原則を立てたのとのこと。ごみ箱がなければどうするんだろうということになるでしょうが、いらなくなったものはごみではなく資源という意識をもち、分別ボックスに入れるようにしたそうです。



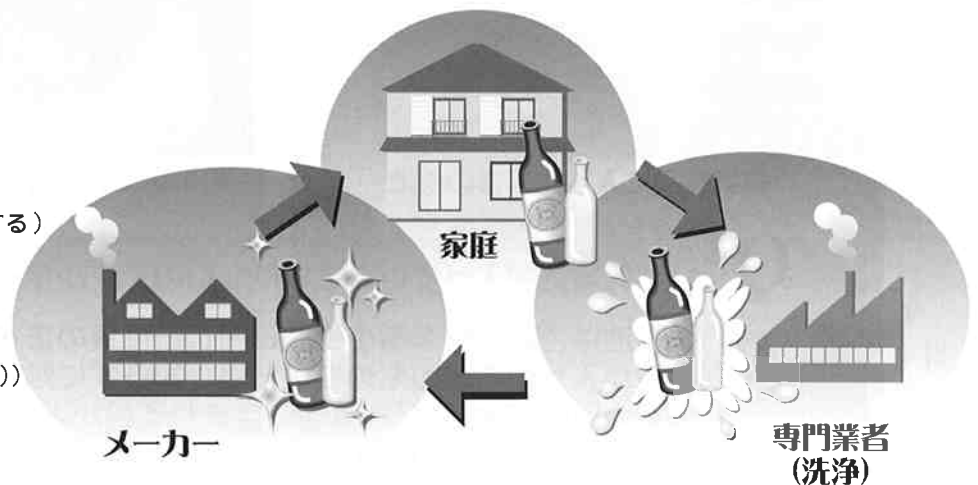
「いらなくなったものをごみ扱い(埋立・焼却)することは殺すことだが、資源扱いは活かすこと。その方法には、売る(鉄・紙)、戻す(ビン・缶)、必要とする人へプレゼント(発砲スチロール・肥料)、資源加工(蛍光灯)など色々ある。」との話がありました。使ったティッシュなどは普通ではごみとしか思えませんが、これもサーマル(熱原料)としてリサイクルできるそうです。A4の紙1枚を作るにはわりばし6本分の木材、缶ビールの缶1本を作るには電灯を40分点けておくだけの電力が必要ですが、リサイクルで紙や缶を作るならそのような資源が不要になるとのことでした。

## 3R

リサイクル  
(Recycle: 再び資源として利用する)

リユース  
(Reuse: 繰り返し使う)

リデュース  
(Reduce: ごみそのものを減らす)



もっともどれだけリサイクルしようとしても、引き取り先がないとリサイクルはできません。大都市横浜では可能だったリサイクルでも、飛騨市・高山市では無理なものもあるかもしれません。それでも、今後、より一層分別は細くなることでしょう。分別するのは手間ですが、ちょっとした手間が環境保護に役立つことになります。「ごみとして捨てる」のではなく「資源が生まれ変わる」といった意識で、楽しみながら分別してみてください。



# ごみ処分場からのお願い

飛騨市から、「処分場で困っていることをお知らせしてください」との要望があったので、問題点をお知らせします。

## 家電小物類を出すときの問題点

### 1 1 ごみステーションに出すとき

ごみステーションに出される家電小物類に多数の乾電池やボタン電池が入ったままになっています。

### 2 2 松ヶ瀬清掃工場に持ち込むとき

松ヶ瀬清掃工場に持ち込まれる粗大ごみの金物(ストーブや瞬間湯沸かし器、ガスレンジなど)や電気製品(リモコンや子供のおもちゃなど)に多数の乾電池、ボタン電池が入ったままになっています。



電気製品に入ったままの電池

処分場で分別された電池類(1回の収集分)

**Q** なぜ乾電池が入っているといけないのですか？

**A** 電池は、蛍光管、家電小物類と同じ日に集めますが、家電品の中に電池が入ったままのものを処分場が知らずに処分しようとする、火災の原因になったり、電池に含まれる鉛が人体に害を及ぼしたりする恐れがあるためです。

### 鉛の人体への影響

水や大気、粉塵などを通じて鉛が人体に摂取されると、鉛中毒を引き起こし、学習機能や聴覚機能の低下、貧血、腎臓機能障害などの影響が出る恐れがあります。

人体への影響などを考えてごみの分別が作られています。皆さんも生活環境を破壊したり、人体に影響が出ることを避けるため、ルールを守ってごみを出しましょう。

高山市の皆様も、分別方法は違いますが、電池を入れたまま家電小物類を出さないように注意して下さい。